

Chromatophore arrangement and photophore formation in the early development of swordtip squid *Uroteuthis (Photololigo) edulis*

ケンサキイカ幼稚仔における色素胞配列と発光器の形成

著者：豊福太樹（佐賀県）・和田年史（兵庫県立大学）

雑誌の情報： Fisheries Science, 84(1): 9-15, 2018

和田年史

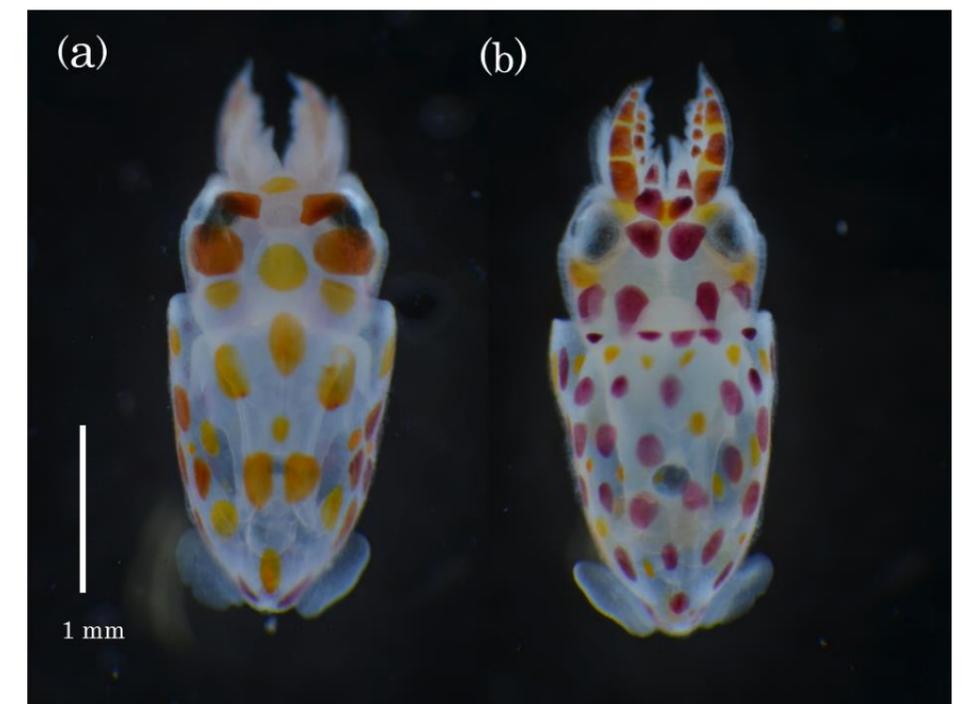
研究員
から一言！



佐賀県玄海水産振興センターの若手研究員との共同研究で、研究計画から論文執筆までをサポートさせていただきました。完成までに約5年をかけた熱い論文です。

論文の内容

この研究は、“呼子のイカ”や“山陰のしろいか”としてよく知られるケンサキイカを対象に、未解明であった幼稚仔の形態形質を記録して報告したものです。ケンサキイカは我が国の重要な水産資源の一つですが、孵化稚仔のサイズが小さく、水槽飼育が困難で、形態形質が未解明であったことから、幼稚仔の段階で他のイカと見分けることができませんでした。この研究によって初めてケンサキイカ幼稚仔における色素胞配列と発光器形成の特徴が明らかとなり、今後の資源管理に役立つ重要な情報が得られました。



卵からふ化した直後のケンサキイカの色素胞配列. (a) 背側, (b) 腹側